有機元素化学 I 定期テスト (2024.11.18) [H<sub>2</sub>O や H<sub>3</sub>O+による後処理は省略してある。]

## 問1 以下の事実を説明しなさい。

(1) BH3 は自発的にジボランに二量化してしまうために、遊離の BH3 は入手できない。 ジボランの構造としてエタンに類似した構造 A を想像したくなるかもしれないが、 それは間違いであり B のような共鳴構造をとっている。

- (2) ボランは、酸クロライドを還元しないが、アミド化合物を還元する。
- (3) BF<sub>3</sub>·O(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>はBF<sub>3</sub>·S(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>より安定であり、BH<sub>3</sub>·S(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>はBH<sub>3</sub>·O(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>より安定である。
- 問2 以下の反応で得られる生成物(C~F)を示し、それらを与える反応機構を答えなさい。

問3 以下の反応で得られる化合物 **G-I**を示し、反応機構を答えよ。また、各段階で炭素の酸化数がどのように変化したか答えよ。変化のあった炭素についてのみ解答すればよい。

(元素の電気陰性度: C = 2.5, B = 2.0, Br = 2.8, O = 3.5, H = 2.2)

$$C_6H_{13} \longrightarrow H + \left(\begin{array}{c|c} \\ \end{array}\right)_2BH \longrightarrow G \xrightarrow{Br_2} H \xrightarrow{NaOH, H_2O} I$$

問4 左に示す光学活性体の原料から、右に示す両エナンチオマーを合成する手法を考案せよ。

問5 (応用問題) 左に示す原料を用いて右に示す化合物を合成したい。合成手法を考案せよ。 重水素源として必要であれば、CH<sub>3</sub>CH<sub>2</sub>OD、D<sub>2</sub>を用いてよい。

$$H_3C$$
 $H_3C$ 
 $H_3C$ 
 $H_3C$ 
 $CH_3$ 
 $CH_3$